

事前評価個表

整理番号	84
------	----

地域（地区）名	<small>しらかわ・きくちかわ</small> 白川・菊池川地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	熊本県	対象市町村	熊本市ほか18市町村
事業実施期間	H23 ～ H27 （5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>白川・菊池川地域森林計画区は、熊本県の北部から北東部に位置し、北は福岡県と大分県、東は大分県と宮崎県、南は下益城郡と上益城郡に接し、西は有明海に面している。</p> <p>総面積265,626haのうち森林が126,384ha（森林率48%）を占めている。このうち民有林が115,484ha（民有林率91%）、民有人工林が67,966ha（人工林率59%）となっており、都市周辺や集落に近い森林が多いのが特徴である。</p> <p>民有人工林の構成は、適正な保育・間伐を必要とする～Ⅹ 齢級が占める割合が86%であり、水源涵養・山地災害防止機能等の公益的機能とともに景観保全と都市や地域住民の憩いの場としての機能が求められており、効率的な木材の有効利用とあわせ適正な森林施策が必要である。</p> <p>また、水道水源を100%天然地下水で賄っている熊本市も存在することから、良質で豊かな地下水等の森林の恵みを将来にわたり維持していく必要があるため、今後も、適正な森林整備を図ることは特に重要である。</p> <p>本計画に基づき、森林の配置や齢級構成に応じた整備を行うことによって、林業従事者の安定した事業量の確保や後継者の育成に寄与するとともに、森林の有する多面的機能の確保が可能となる。</p> <p>なお、他産業との連携等に関しては、農耕地の多くが森林に近接していることから、関係部局との連携を図り、農林業の振興を図っていく。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：16,222ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：3,899,871千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.56 (総便益(B) = 28,570,787千円、総費用(C) = 6,256,804千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって、水源涵養・国土保全等の機能の確保はもとより、将来の資源の循環利用にとって有効である。</p> <p>本計画は、森林の公益的機能を発揮するために適切な森林整備等計画としている。また、効率性、有効性が認められ、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

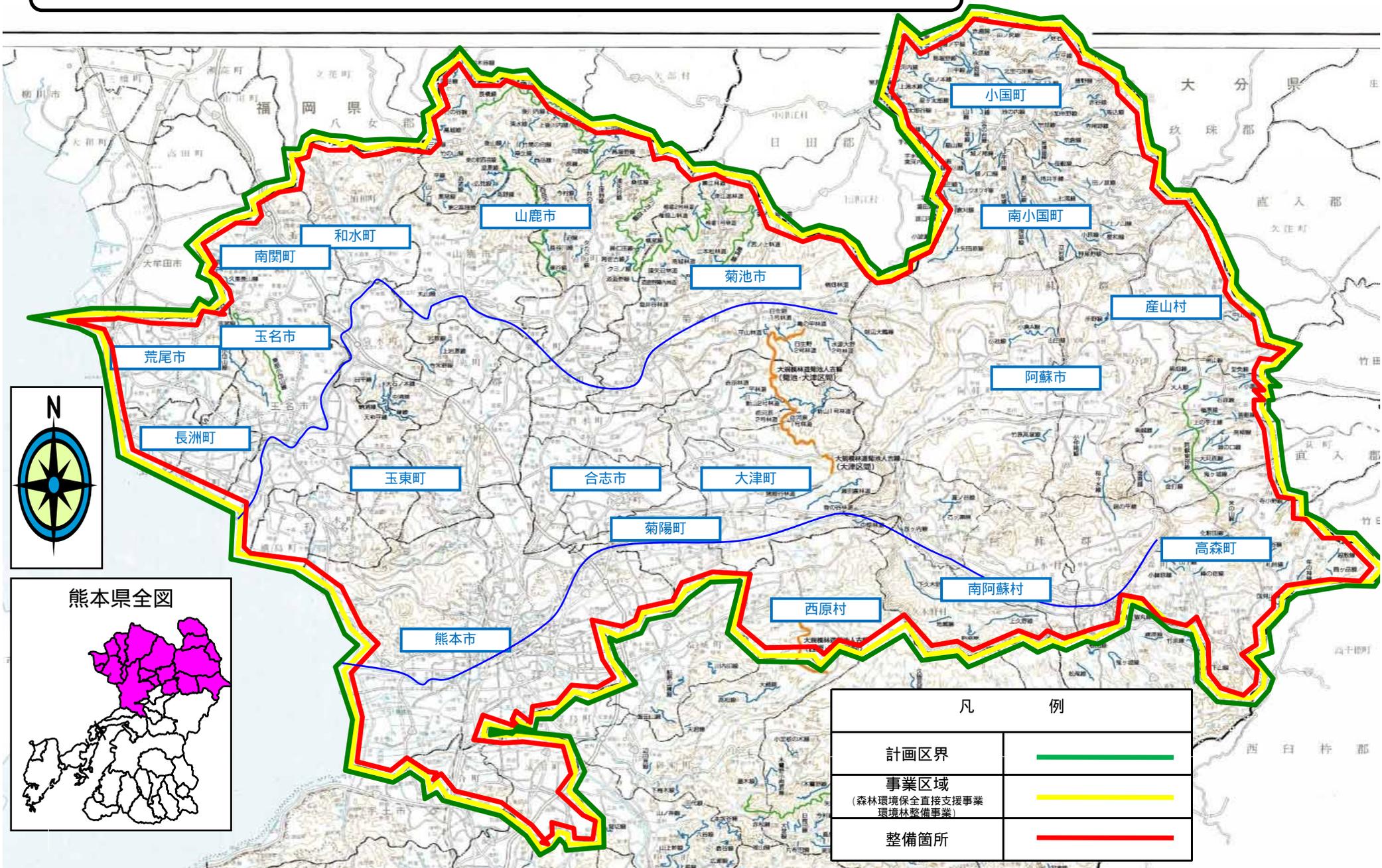
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 白川・菊池川

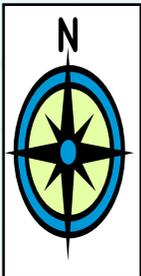
熊本県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	9,727,988	
	流域貯水便益	3,277,692	
	水質浄化便益	5,594,449	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,642,468	
	土砂崩壊防止便益	28,566	
環境保全便益	炭素固定便益	1,411,481	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	1,888,143	
総 便 益 (B)		28,570,787	
総 費 用 (C)		6,256,804	
費用便益比	$B \div C = \frac{28,570,787}{6,256,804} = 4.56$		

森林環境保全整備事業 白川・菊池川地域(熊本県) 概要図



森林環境保全整備事業 白川・菊池川地域(熊本県) 概要図



凡 例	
計画区界	— (Green line)
事業区域 (森林環境保全直接支援事業 環境林整備事業)	— (Yellow line)
整備箇所	— (Red line)